

平成29年度の学校自己評価アンケートの集計結果について(報告)

本校の教育活動について皆様のご意見を聞き、今後の教育活動に生かすことを目的に学校自己評価アンケートを実施しました。保護者の皆様、施設職員の皆様にご協力いただき大変ありがとうございました。回答状況は以下のとおりです。

アンケート期間(10月16日<高等部のみ6日>～11月8日)			
保護者	96名	施設職員	18名

今年度の各項目の集計結果は、グラフと合わせて学校ホームページにて公開します。

なお考察にあたっては、アンケート項目の「A:よくできている」と「B:概ねできている」を合わせて積極的評価、「C:あまりできていない」と「D:全くできていない」を合わせてマイナス評価ととらえて行いました。



保護者・施設職員の集計結果において、特徴的な点は以下のとおりです。

(1) 評価の割合が向上した項目(昨年度と比較して A+B 評価が増えた項目)		
施設 保護 職員	① 学校学部、学級での目標の共有	(A+B 評価 93%→94%)
	④ 校内の安全な環境	(A+B 評価 89%→96%)
	⑯ 医療や福祉等の関係機関との積極的な連携	(A+B 評価 93%→94%)
	⑳ 事務室の対応	(A+B 評価 93%→97%)

A 評価だけで見ても、⑤ 校内の環境整備を加え、保護者や施設職員の方々に積極的に評価していただき、教職員にとって今年度の取組の確かさを感じとることができました。

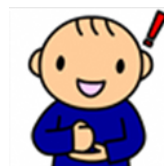
(2) 課題と思われる項目 (C+D 評価が他の項目より高い項目)		
保 護 者	⑦ 児童生徒個々の実態把握と適切な目標の設定	(C+D 評価: 12%)
	⑭ 積極的な学習評価と改善	(C+D 評価: 12%)
	⑰ 教職員研修の充実と指導場面での活用	(C+D 評価: 17%)
職 施 員 設	② 適切な教育課程	(C+D 評価: 17%)
	⑨ 指導の工夫	(C+D 評価: 24%)

保護者・施設職員の方々は、ともに教職員の指導力・専門性を求めており、指導面への保護者の不安、学部移行時の指導の引継ぎの充実、よりよい授業実践への要望と捉えました。

上記の集計結果を受けて、来年度に向けて、以下のことを重点に改善及び充実を図っていきます。

○ 教職員の指導力・専門性の充実

- ・各教科、自立活動等において、キャリア教育の視点で授業計画を立て、育てたい力を明確に位置付けた授業を行います。
- ・ICT機器をはじめ教材・教具を工夫し、分かる授業づくりを行います。
- ・将来必要となる力を見通して、小学部段階から一人一人に応じた適切な指導・支援の充実を図ります。



給食週間の取り組み

2月13日(火)～16日(金)は、本校の学校給食週間でした。①給食を作ってくださっている方々への感謝の気持ちを養う。②給食の献立や栄養などへの関心を高め、郷土料理・行事食や防災食を知る。③食文化等への関心を高める。の3つを目的とし、交歓給食や感謝の手紙・ポスター作成などに取り組みました。今年度は新給食場設置に伴い、新しい調理員さんと児童生徒との交流が印象的でした。



感謝の気持ちを調理員さんに



調理員さんと一緒に会食



郷土料理 (たこめし・はりはり漬等)

平成 29 年度卒業証書授与式

3月2日(金)、平成29年度高等部卒業証書授与式が、来賓並びに保護者、施設職員等、約60名の皆様のご臨席の中、行われました。新体育館での初めての卒業式で、高等部卒業生36名が、校長先生から卒業証書を授与されました。緊張感の中、誇らしげな一人一人の表情がとても印象的でした。

また15日、小・中学部卒業証書授与式も行われ、小学部2名・中学部9名の卒業生が、卒業証書を授与されました。緊張した表情で、立派に、証書を受け取る姿に成長を感じました。

なお、訪問教育の高等部1名、中学部1名の卒業生は、2日・15日両日の午後、岡山療護センターで保護者、訪問教育ゆかりの教職員に温かく見守られながら校長先生から卒業証書を授与されました。

巣立ちゆく卒業生の皆さんに幸多かれと、お祈り申し上げます。



高等部卒業証書授与式



高 見送り



小・中学部卒業証書授与式



小・中 見送り



岡山療護センターでの卒業証書授与式

